

3 患者さんの誘導と退出

1) 患者さんとの接し方

患者さんはさまざまな悩みや痛みなどを抱えて来院されます。直接患者さんに接する歯科助手は、そうした患者さんの立場に立って、思いやりをもって対応することが大変重要となります。曖昧な態度や不安を助長するような言葉は患者さんを不快にさせ、医院の信頼を失うことになってしまいます。明るく、快活で落ち着いた態度で接しましょう。以下に基本的な心構えをあげます。

- 誠意をもって
- 親切的な気持ちで
- 親しみをもって
- 迅速確実に
- 公平に
- 相手の性格に応じて

このようなことに気をつけて、患者さんに気持ちよく満足して通院していただけるようにしましょう。

2) 患者さんを誘導するとき

手 順

- ① 歯科ユニットのテーブル上に、基本セットやコップ等を運びます。
- ② 患者さんに明るく声をかけ、ユニットまで誘導します。
- ③ 貴重品を預かり、ユニットのチェアに深く腰掛けていただき、背板やヘッドレストを調整してエプロンをかけます。このとき、メガネや口紅など治療の邪魔になるものはとってもらいます。
- ④ バキュームチップ、排唾管、コップをセットし、軽くうがいをしてもらいます。このとき、患者さんに「その後痛みはありませんか」「調子はいかがですか」などと声をかけましょう。
- ⑤ ブラケットテーブル、コントローラーを寄せ、術者をよびます。
- ⑥ 術者がユニットを動かしたら、ライトを合わせます。

3) 患者さんを退出させるとき

手 順

- ① ライトを消し、患者さんの頭にあたらないようにずらします。
- ② テーブルの上の汚れたものや血液などは、すばやく片付けるか、患者さんの目に触れないように使い捨てエプロンなどで覆います。
- ③ チェアを起こします。このとき、テーブルがぶつからないよう、患者さんの胸の位置から外へ移動させておきます。
- ④ 患者さんの口元を見て、汚れていたら拭いてあげるか手鏡と濡れティッシュを渡します。
- ⑤ 「お疲れさまでした」と言って、スリッパをそろえ、コントローラーなどの邪魔なものはよせて歩きやすくします。

4 使用する器材

1) 基本セット

日常の臨床で使用される必要最低限の器材を準備したのが、基本セットです。

これは、ほとんどすべての診療に使用されますが、これに専用の器材を追加することにより、広範囲な診療が行われます。基本セットの種類とその使用目的を次にあげます。



図 2-2 基本セット

①デンタルミラー

口腔内の見にくい部分に光を当てながら観察します。

②歯科用ピンセット

先端部が湾曲していて口腔内などの狭い場所で使用しやすい構造で、細かなものをつかんだり運んだりします。

③ストッパー（練成充填器）

セメント泥を運んだり、ストップング（ゴムのような仮封剤）の充填や除去に使用されます。

④探針

鋭い先端で虫歯や歯の亀裂などを探ります。

⑤エクスカベータ

平たい刃が付いていて、軟らかくなった虫歯を掻き取ったり、仮封用セメントの除去などに使われます。

⑥バキュームチップ

バキューム装置の先端に取り付ける部品です。

⑦ステンレストレー

インスツルメント（器具）を載せるもので、術者がグローブをした手でも取りやすいように凸加工されています。

5 診療補助の実際

1) フォーハンドシステム

歯科診療では、術者（歯科医師や歯科衛生士）と介助者（アシスタント）のチームワークが大切となります。診療時に器具機材の受け渡し、バキューム操作等を、術者と介助者の4つの手で行い、能率的かつ正確に診療をすすめるためのテクニック、これをフォーハンドシステムといいます。

これは、術者と介助者の4つの手で能率的かつ患者さんにとって快適に診療をすすめる技術です。



図 2-3 フォーハンドシステム

(1) 介助者の立ち位置

- 介助者は患者さんを中心に、術者と向かい合った位置に立ちます。
- スツールを使用する場合は、術者より 15 cm 位高い位置にします。
- ライトの光をさえぎらないよう注意します。



図 2-4 介助者の立ち位置

(2) 器具の手渡し

- 患者さんの胸のあたり、もしくは患者さんの頭の後ろで渡します。患者さんの顔の上では絶対に手渡しません。
- 注射器など患者の不安を誘うものは、患者の目に触れない所で手渡します。
- 術者にペングリップ（ペンを握るときの握り方）で受け渡します。
- ドクターが姿勢をくずさなくてもいいように渡します。

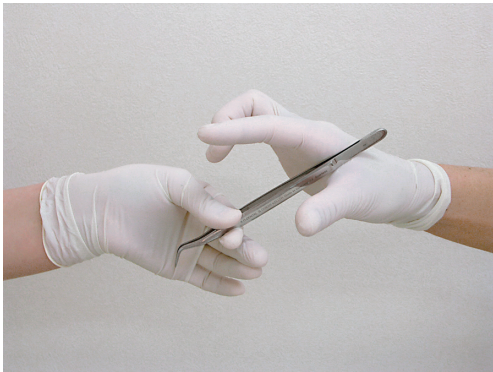


図 2-5 ペングリップでの受け渡し

Hint!

インスツルメント（器具）を確実に手渡すために、インスツルメントを術者の手に押しつけて、握ったことを確認してから手を離します。

2) スリーウェイシリンジの操作

スリーウェイシリンジとは、水・エアー・スプレー（水とエアーの混合）の3つの用途に分けて使用し、治療部位の水洗、乾燥を行う器具です。



図 2-6 スリーウェイシリンジ

- レバーには W と A の文字が入っています。W のレバーを押すと注水し、A のレバーを押すとエアーが出ます。また、W と A を同時に押すとスプレーが出ます。
- スプレーは先に W レバーを押します。
- シリンジとバキュームを同時に使用するときは、バキュームチップを先に入れ、スプレーは必要に応じて使用します。
- 術者のミラーが汚れたら、ウォータースプレーで噴霧して洗浄し、呼気などで曇ったときにはエアーで視野を確保します。

3) バキュームの操作

歯科医師が使用する歯の切削器具の一つにエアータービンがあります。歯を切削するときには、切削部位の発熱を抑えるために注水しながら行います。このときに口腔内に溜まった水を排除するために、真空装置（バキューム）が必要となります。術者はハンドピースとミラーを持っており、両手がふさがっているので、バキュームシリンジの操作は介助者の役割になります。

狭い口の中で、術者の行っている切削をさまたげないようにバキュームチップを操作するには、技術の習熟が必要です。

(1) バキュームの目的

- 削りカスや液体（唾液、水など）を吸引します。
- 唇、頬、舌などを圧排して術者の診療スペースを確保し、患者さんの粘膜も保護します。
- 電気メス使用時や切削時に生じる臭気を除去します。

(2) バキュームの持ち方

- バキュームは原則的には右手（利き手）で持ちます。
- 持ち方は、握り持ちとします（曲のチップの場合）。
- チップの切り口は常に歯の方へ向けます。
- 術者のミラー、切削操作の邪魔をしないようにして術野を確保します。



図 2-7 バキュームの持ち方

(3) 挿入禁忌部位

口腔内には嘔吐反射が起きる敏感な部位があります。右図の斜線部分の軟口蓋、咽頭部、舌根部です。

この部分にバキュームチップをあてると患者さんは不快感をもつため、あてないようにします。

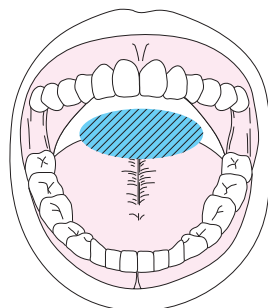


図 2-8 バキューム挿入禁忌部位

(4) 挿入部位

バキュームチップの挿入部位を下に示します。水や唾液が溜まりやすい部分は、嘔吐反射のある舌根部や軟口蓋ですが、ここは挿入禁忌部です。そこで患者を左か右に回転させ、唾液や水を臼後三角に集め、ここで吸引します。

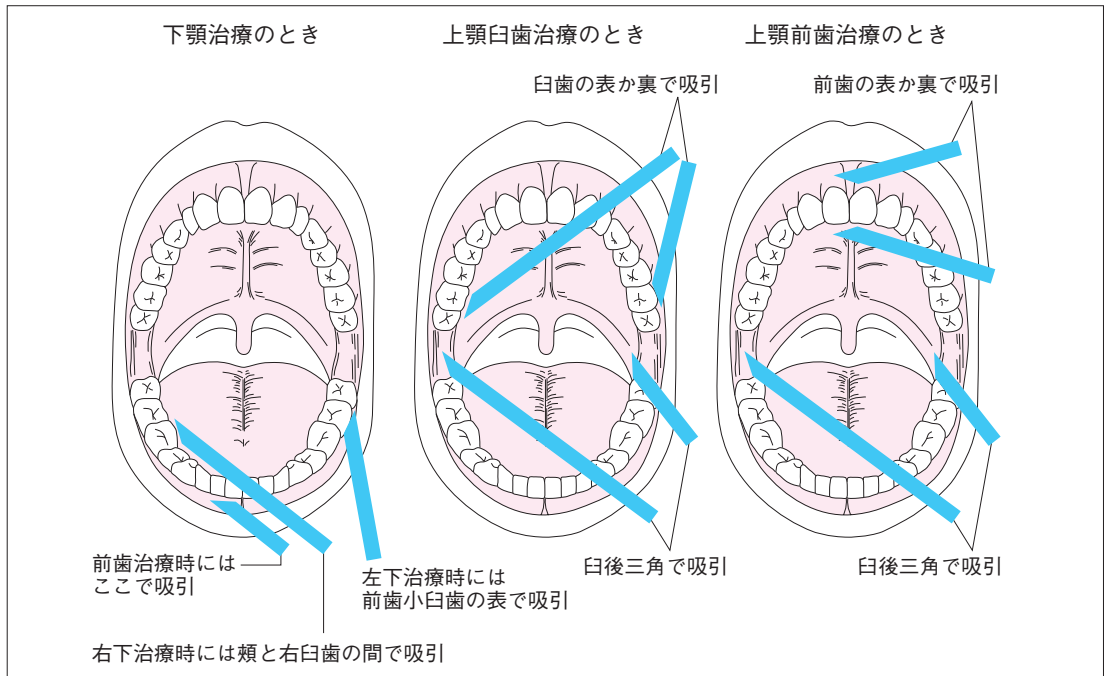


図 2-9 バキューム挿入部位

6 歯科材料薬品とその管理

歯科医院では多くの薬品が使われています。薬品の使用ミスが、重大な医療事故につながることもあるので、取り扱いには十分な注意が必要です。

1) 取り扱い上の注意

- 冷暗所に保管し、湿気に注意します。
- 薬ビンには多量に入れずに、新鮮なものを少量ずつ補充します。サンダラック等粘度の高いものはアルコールガーゼで拭っておきます。
- 在庫を点検し、清潔にしておきます。
- 使用上の注意をよく読み、使用目的を把握しておきます。
- 着色ビンに入っているものは、日光に当てないようにし、小分けする場合も色付きの小ビンに入れておきます（CC、JG、FC など）。